

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	在宅看護論実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年	学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	鬼頭 浩美	実務経験と その関連資格	大病院勤務9年 看護専門学校勤務18年 看護師・専任教員・ケアマネージャー		
《授業科目における学習内容》					
療養生活をおくる対象と家族の特徴を理解し、在宅看護が実践できる基礎的能力を習得する。					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間 時間数	2021年 5月6日～10月29日 合計90時間				
実習の目的	対象を身体的、心理的、生活・環境、家族の健康・介護状況の4つの側面から捉えることができる。 対象と家族が在宅で療養生活を継続するために必要な援助の根拠を学び、実施できる。 在宅看護における社会資源の活用方法や保健・医療・福祉の連携が理解できる。 生活の場へ介入することの意味を考え、対象および家族に配慮した行動ができる。				
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)対象の病態生理・治療・合併症について知る。</li> <li>2)対象の生活環境について知る。</li> <li>3)対象の生活習慣・生活様式・価値観について知る。</li> <li>4)対象を支えている家族の介護状況・健康状態について知る。</li> <li>5)対象と家族の療養への思いを知る。</li> <li>6)疾病や障害が対象や家族の生活に及ぼす影響を考える。</li> <li>7)対象に応じた援助の必要性を考える。</li> <li>8)対象に必要な援助について看護計画を立案する。</li> <li>9)訪問看護師の援助を見学し、安全・安楽・経済性、QOL維持、向上に考慮した援助の工夫や留意点について考える。</li> <li>10)対象に応じた援助の一部を実施する。</li> <li>11)対象と家族に応じた関わり方について学ぶ。</li> <li>12)施設内看護と在宅看護の違いについて知る。</li> <li>13)次回訪問までの情報提供や工夫について学ぶ。</li> <li>14)対象が地域で療養するために必要な社会資源について学ぶ。</li> <li>15)社会資源の関連機関や多職種との連携の実際について知る。</li> <li>16)訪問先で、接遇に留意し行動する。</li> <li>17)対象と家族を尊重した看護についての考えを知る。</li> </ol>				